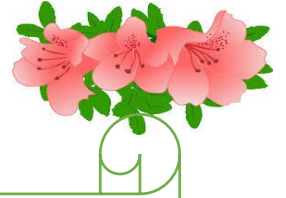




児童発達支援

わおんだより



《表現あそび》

表現あそびでは・・・

子ども達が、自分の気持ちや自分からやってみたい、あるいはやりたくないといった思いや感情を態度や身振り、ことばなどを使って自分なりに伝える力を育みむことで伝わる喜びや人と関わるきっかけにつながっていきます。

『できた』『もっとやりたい』といった子どもの自信につながる活動をおこないます。

スタッフ紹介

今年度もよろしくお願ひいたします。
わおん職員一同



4月の活動

新しいともだちや職員になり、最初は戸惑うこともありました。何度か会ううちに、名前と呼ぶことが増えてきました。

4月の活動はレゴの色合わせ、粘土宝さがしを行いました。

3色のレゴが重なっている見本を見て、トレイの中から3つのレゴを選んで組み合わせます。レゴをくっつけたり、外したりするのは指の力を使います。

宝さがしは隠されているものを指や手で探していきます。指だけでは粘土を伸ばすことができないので立ち上がって腕を使います。見つけた時は「あった～」と嬉しそうな顔を見ることが出来ます。

粘土の中にビー玉やおはじきを隠し、ともだちと交換して探します。隠れていたものがひとつ見つかるたびに探す顔は真剣です。すべて見つけることが出来ると「できました」と大きな声が聞こえます。手指は第2の脳と言われ、器用になるだけでなく脳や神経の発達を促すのに効果的と言われます。

今後の活動は手指を使うこと、全身を使う活動を取り入れていきます。

